2015年下半期　②「和光3・11を忘れない」支援活動報告

《7月・8月・9月》

7月9日（木）

朝から、急きょ、双葉町復興支援員と、来年3月１０～１３日（予定）の和光市民文化センターサンアゼリア、展示ホールの「写真展」打ち合わせ。今年は浪江。来年は双葉、でということになるかも。企画展示室も使って、加須始め、杉並や練馬などにも分散して避難、孤立している双葉町出身の「つどい」も共にどうか、と。ほぼ行けそう。

7月10日（金）

午前 10 時から、来年３月のコンサート企画検討打ち合わせ。

「和光３・１１イベント」最終日のコンサート２つのイベントについて、市民合唱団と市民オケの団長からの選曲、指揮、ソリストなど多方面からの意見や、実行委員会芸術監督のアドバイスなどで２時間。

いくつかの検討課題が出て、合唱団、オケとも役員会で話し、今月中の企画確定を目指すことに。難しいのは、今年の大成功の体験でまた参加したい、という大 勢の方々の参加の場が可能か、またはさらにこれまでとは違う顔ぶれで、マンネリを打破すべきでは？と揺れ、さじ加減が必要。

12 時になったので、解散。

7月16日（木）

午前は、「和光３・１１を忘れない実行委員会」。といっても、カメラが壊れ、いつものように写真が撮れない。出席は、男性５人、女性３人。おおよその来年 の企画論議。そして、雑談、でもないのだが、全員の出身小学校とその校歌についての開陳で湧く。長崎、広島、福島の方も、都内山の手の方も、下町の方も、 色々。再来年の企画になりそうだが、「廃校小中高」の「校歌」合唱も良いね、と。

７月23日（木）

７時すぎ、北朝霞駅で「和光市民合唱団」の支援者のひとりの女性と待ち合わせ。近くのコメダへ。私はコメダでしか頼めないアイスクリーム山盛りのコーヒーを注文。会社で「部長賞」をもらったので、「３１１　有志」の支援金にカンパしてくれる、というのだ。これで、２回目。有難い。必ず、仮設住宅訪問の際の「手土産」に使わせて頂く。様々な話題で２時間、雑談。９時半、ご自宅近くまでお送りし、帰宅。

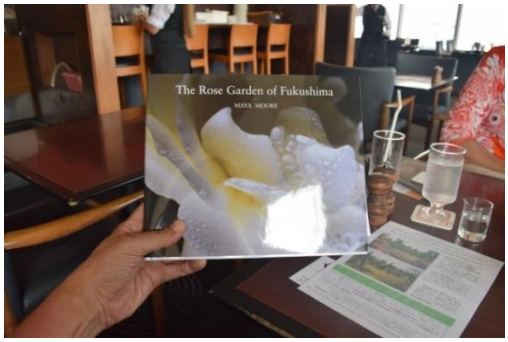
７月24日（金）

午後、和光市で実行委員 ２ 名を乗せ、国道１７号を北上。片道３０㎞弱、１時間２０分。北上尾の障害者支援施設での「英国人２人の福島県双葉町」の写真展 へ。双葉町復興支援員と、来年３月の和光３・１１イベントでの写真展示とイベントの相談。

７月27日（月）

１時半から、有楽町の「外国人特派員協会」（外国人記者クラブ）の会員専用レストランで、また２時間半打ち合わせ。多くの客は当然外国人。

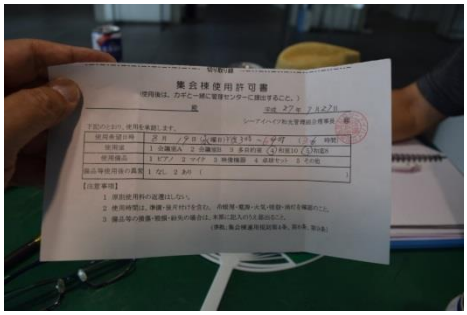
来年３月１０～１３日「和光３・１１を忘れない」イベントでの写真展の「その２」。「その１」は、先週末北上尾で拝見した「英国人２人の撮ったモノクロ双 葉町」。今度は、「米国人が出版したカラフル双葉町ばら園写真」。英国人は、双葉町で中学の英語の先生だったが、今度は、ＮＨＫＢＳ衛星放送の元ニュース キャスター。この写真展の実行委員長のカメラウーマンと３人。同じ双葉町を撮り、同じ英語のキャプチャー。これまでの日本語表示、日本人目線から、大きく飛躍できるチャンス。まだ、それぞれ「ジャストアイディア」段階で、可能性、思いつきを存分に話し合った。「その１」「その２」の同時展示展示ホール隣の 企画展示室でのイベントも、アイディア盛り沢山。前向きに検討して頂くことになった。このバラ園のご紹介などはゆっくり後日。



なお、残部少ない貴重な写真集を頂き、「妻がバラが大好きなので」と、有難くメッセージのサインまでして頂いた。（当然、持ち帰って、妻は「狂喜」）。ま た、この会員専用レストラン、現金はダメ、会員専用チケットでの支払い。カメラウーマンには、コーヒーをご馳走になってしまった。これも、ありがたい。最 後の給仕さん、二人の別会計に手間取っている姿も、とても微笑ましかった。

８月７日（金）　いまだ来年３月イベント、日程確定できず

「和光３・１１」実行委員３人、和光市駅で待ち合わせし、和光市文化振興公社へ。理事長、常務理事と面談。いまだはっきりしないの来年３月の日程を確定するよう、要請。



それから、和光市中央公民館ホールで、今後の打ち合わせ。まず、８月１９日、実行委員会を和光市内のマンション集会所でやることに。いよいよ、来年３月の様々な企画を本格的に作り、１９日の実行委員会で承認されれば、ただちにさまざまな方面、とくに合唱やオケなどへの参加呼びかけを開始する。実行委員会終了後、「納涼会」。今年３月に尽力頂いた方々も招待し、来年３月イベントへの協力を仰ぐ。

８月１５日（土）来年３月、チェロアンサンブル企画打診

来年 ３ 月１２日（土）の「チェロアンサンブル」の企画について、某氏と初打ち合わせ。当初は、メールや文書のやりとりだったので、疑問や懸念もあったようだが、1 時間余りで、こちらが望んでいた 最高の結論。「共に主体的に連携とってやろう！」。

８月１７日（月）　相変わらず、来年３月の日程確定できずの間に、ほかが！

和光市役所６階で、２日後に行う「和光３・１１を忘れない」コンサートの第１回から第３回のＤＶＤ上映に使う、スクリーンやプロジェクターなどを借りる。それから、和光市文化振興公社。来年３月イベントで、色々常務理事と話すが、まだもやもや。

そのあと、チケット売り場でようやく確定した大 ホールの日程に合わせ、小ホールや展示ホール、企画展示室などを予約し直すが、なんと、３月１３日（日）には、すでに他の団体が企画展示室と展示ホールを予約済み。１２日までの写真展は、１３日には、小ホールかそのホワイエと大ホールホワイエに移してやるほかない。それと、展示期間を４日間から６日間に延ばす。その分観客は増えるかも、が唯一の救い。

８月１９日（水）実行委員会、そして納涼会

３時半～５時まで会議、といっても、そのあとの「納涼会」準備で、集中した論議できず。ただ、コンサート企画の大筋は決まる。

５時半から、「和光３・１１　を忘れない」コンサートの第１回から第３回までのダイジェスト版を流しながらの「納涼会」。地元や大船渡からの伝統芸能、合唱練習風景なども入っていて、　どれも懐かしく、新鮮。松本市長や末っ子ちゃん、３月の佐々木指揮者、今年３月裏方スタッフとして手伝ってくれた市職員や気仙沼大島支援者、そして、オケや合唱の参加メンバー、双葉町復興支援員など１５人で賑やか。来年３月のイベントへいよいよ始動。細部はまだまだこれからだが、今週中には、企画概要案内と、参加者募集開始。

９月２日（水）国際チェロアンサンブル協会と打ち合わせ

12 時、銀座線で赤坂見附駅下車、紀尾井町。午前中の小雨、曇天がウソのような強い日差し。5 月に仙台で感動の「1000 人チェロ」コンサートの主催団体、国際チェロアンサンブル協会の事務統括と事務局長と清水谷公園隣の、中華料理店で２時間打ち合わせ。
来年３月 12 日（土）に企画する「チェロアンサンブル」の打ち合わせ。仙台での曲の何曲かと、東北キャラバンで仮設などで演奏、または 合唱伴奏した曲を何曲か。双方で、「良し！これで行こう」と基本合意。まだ、クリアすべき課題があるが、出来れば、10 月上旬には、広く東北での 1000 人チェロコンサート参加者などに参加呼びかけを開始したい。

９月４日（金）第７回「和光３・１１を忘れない実行委員会」

９時に和光市社協。資料２種類、50 部と 250 部を両面印刷。
10 時、「和光３・１１を忘れない実行委員会」。大きな課題への挑戦。前向きだから、壁も大きく、厚い。それを市民の力で乗り越えようと、論議白熱。

９月１３日（日）合唱団募集チラシ配布

合唱団や合唱サークルの１０近くのメールボックスに、来年３月の合唱参加募集チラシ若干部と本年３月のプログラムを一部づつ入れる。

９月 14 日（月）三井住友海上「エコ展示ルーム」見学

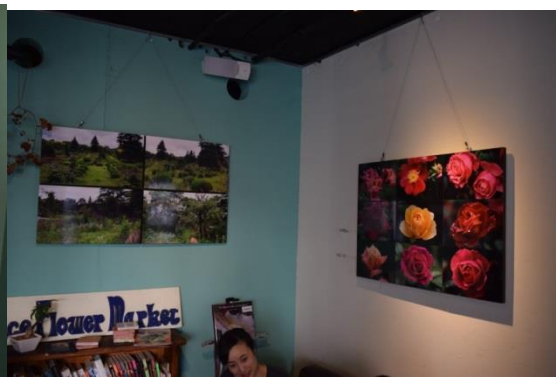
同社新館に出来た「エコ展示」スペースへ。三陸の写真展をやっているはず、と。しかし、行くと、次の展示企画へ入れ替え中。が、次は「福島の植物」展。　猪苗代出身で、今年、

ニコン賞を撮った写真家。「福島の子供たちが植物に触れたり、見たりする機会が失われたので、せめて写真で」ということらしい。この スペース、おおよそーか月ごとに入れ替えのサイクルとか。ここの主管は、社会貢献室、と。３月には本社で「３・１１」絡みの映画会も主催した、という。これまで接触したことが無かったセクション。今後に役立ちそう。2017 年の和光での写真展示候補か。

９月 18 日(金)「福島の花」写真展

そして、三井住友本社本館の向いの新館「ＥＣＯＭ駿河台」へ。先日はまだ展示途中だった「福島の花」の展示を見る。ニコンコンテスト大賞受賞作品は、数人 の外国人の審査員の評を読んでいると、単に綺麗な花、でなく、愛でることのできない、または触ることのできない福島の花、をせめて福島の子供たちに、とい うコンセプトに打たれた、ということ。一見、画像処理したカラフルな花だけ、であるが、綺麗な故の悲劇性に涙が出た、とも。ここで、三陸の写真展などが可 能か、など聴く。年内イベントは既に決まっているよう。また、来場者の９割以上は、三井住友海上社員以外の外来者とも。

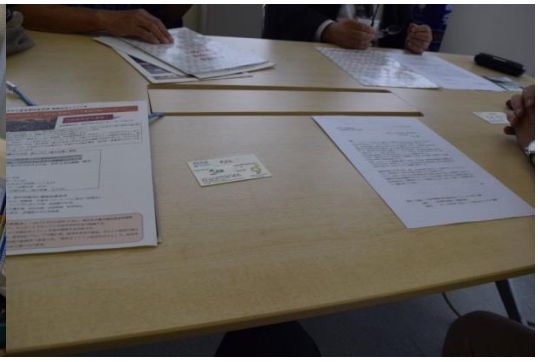
９月２２日（火ー休日）「双葉町のバラ園」写真展



副都心線で、終点「元町中華街」駅まで一本。乗車時間１時間９分。便利で、近くなった。今月１９日から１０月２日まで、カフェ「Peace Flower Market&Cafe」で開催されている「心のローズガーデン」。この主催者、小松さんと、来年３月８～１３日和光市民文化センター展示ホール で開催する写真展の打ち合わせ。

１時間半、じっくり色々な関連の話が出来て、とても有意義だった。

９月 25 日（金）和光市との打ち合わせ＆長崎原爆展

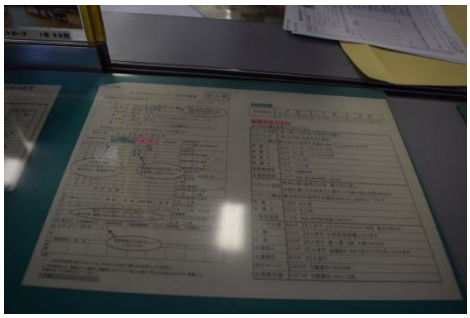


２時、「和光３・１１を忘れない実行委員」３名が和光市役所で待ち合わせし、役所の某セクションの某氏と打ち合わせ。ある企画を提案、実現への協力、アドバイスを期待して行ったのだが、結局、建設的、前向きなアドバイスは無く、１時間の無駄。が、市役所への別なアプローチ方法も分かり、そして一度別れた相手が、戻ってきて手にしていたのは、「市役所の組織図」。最後まで「権限外」「担当外」の繰り返し。

「まあいいか」と３人はモンブランと お茶で濁す。

来年のバラ園写真展示で問題だったボードの使い方チェックへ展示ホールへ。すると、「季節外れ？」の長崎原爆展。わが実 行委員長は、長崎出身。しかも県人会など取りまとめ役。誰も来場者がいない中、たったひとり、主催者としての役所の某課長が座っていた。かつて「和光３・ １１」で関わりのあった顔見知り。お互い、たっぷり時間があるので、この主催が毎年、長崎と広島から交互に資料や写真を借りて開催し続けている企画である こと、時期は、原爆投下の８月は、イベントも多く、暑からず、寒からずの今頃が貸出側も借り手も都合が良いので、今なこと、今回も横の企画展示室で長崎原 爆に関するＤＶＤの上映

や、被爆者「語り部」の体験談をやっていること、など聞いた。一方、写真の中に、実行委員長の母校の小学校の写真発見。当時は瓦礫 と化していたが、昭和２４年生まれの委員長が入学する頃は、校舎はバラック、まだケロイド跡のある大人たちが大勢いた、などの話。戦後７０年、証言者も減 り、一度に７万人以上が虐殺された犯罪も確実に風化している。３・１１も、わずか５年で「もう一区切り。これからは被災者、被災地という言葉は使わない」 対応が目立つ。



帰りに、サンアゼリアのチケット売り場で、来年３月８～１３日の各種会場予約で、急に判明した「展示ホール」「企画展示室」などの変更を伝えに寄る。皆、 顔見知り。でも顔パスは効かない。すぐに、現在の申請をパソコンと紙で確認。しかし、「すでに、これらの施設は、申請には無い時間帯でも、ほかには貸さないので、急がなくても結構ですよ。ゆっくりご自宅で」。申請書の紙を渡され、拍子抜け。無駄だった。ついでに中央公民館で、「和光３・１１」資料のリソグ ラフコピー。

９月 27 日（日）志木フィル＆八重洲室内アンサンブル訪問、勧誘。

昼、志木フィルの定期演奏会前の練習終了を待つ。今年 ３ 月「和光３・１１」コンサートに参加頂いた団長や知り合いのコンバスさんに挨拶。来年３月オケ参加 募集申込チラシ渡し、オケで配布依頼。知り合いコンバスさんの娘さん、ヴァイオリン抱え、でも今日は、受付係、とのこと。では、次の本番へ失礼。

高円寺へ 2 時前到着。今度は八重洲室内アンサンブル定期演奏会。この団には「３１１有志」合奏団メンバー２人。ほか被災地訪問したメンバーあちこちに。8 割顔なじみ。受付で案内をもった長身の男性、「母がいつもお世話になっています」とご挨拶された。そして、元石巻市民交響楽団メンバーで神奈川県在住Mさ んが、ヴィヴァルディー「四季」のソロ。鮮やかなドレスで、緊張が伝わってくる。今朝、母君も石巻から上京。無事ソロも終わり、エルガーやブリテンなどで 心地よい。アンコールは英国つながりでビートルスメドレー。

終わって、全員で記念写真。もちろん、このオケにも、「和光３・１１コンサート」オケ参加 者募集チラシを置いてきた。帰りを急いで階段を上っていたら、Mさんのお母上とバッタリ。「また石巻にいらっしゃい！」。は～い。バイバイ。

以上